

2021

第 69 号

NUKUMORI

ぬくもり

謹
賀
新
年

ソーシャルディスタンス

換気

除菌

うがい

マスク

検温

手指消毒

手洗い

丑年も感染防止に勤めてまいります

 社会福祉法人ともいき福祉会

新年のご挨拶

理事長
社会福祉法人ともいき福祉会
栢原 正寛



あけましておめでとうございます。
旧年中は利用者の皆様、ご家族の皆様には法人運営にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。地域の皆様方、取引先の皆様方にも様々な形でのご支援、ご協力を賜りましたこと感謝申し上げます。ここにあらためて厚く御礼申し上げます。

また、皆様方におかれましては令和3年の初春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。皆様方にとりまして良き一年になりますようご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス(COVID-19)の全国的な感染拡大の影響により、世の中では春先から様々な恒例行事が中止に追い込まれ、当法人の各施設においても「ぬく森納涼祭」、「ぬく森家族会総会&施設発表会」、「クリスマスツリー点灯式」、「ぬく森餅つき大会」など利用者様が楽しみにいただいている多くの行事が中止となりました。

また、ご家族の皆様には面会制限を始め感染防止対応に、ご理解、ご協力をいただきまして重ねて感謝申し上げます。

そして、法人の職員の皆さんには、新型コロナウイルスに感染しない、施設に持ち込まない、施設内での安全・安心を確保することに注力していただいております。この場を借りて職員の皆さんに感謝申し上げます。

このような背景の中、法人の運営については「新しい生活様式」を取り入れ、施設内での生活や通所事業所内での活動が「安全・安心」でいられますように一層努力してまいりますので本年も引き続き宜しくお願い申し上げます。

その様な状況の中で昨年末にとっても喜ばしい出来事がありました。それは・・・。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に右往左往する日々が

続くなか、12月6日の夕刻に私の携帯がなりました。発信者は特別養護老人ホームぬく森・第二の事業長 後藤君からです。「今、結果が発表されました。上生君が準グランプリです。」と。

その日は愛知県が主催する「あいち介護技術コンテスト2020」の本選日だったのです。特別養護老人ホームぬく森・第二で介護士として勤務する上生君は、昨年初参加したコンテストでは本選出場者には残ったものの惜しくも決勝には残りませんでした。その時の悔しさを糧に1年間、介護技術の向上に勤しみ再チャレンジしていたのです。そして今年、無事に予選を通過して本選出場者10名に選ばれ、コンテスト本選では見事決勝進出者の4名に残り、決勝戦では課題に対して思う存分にやりきれたそうです。

新型コロナウイルス等の感染防止対策で緊張が続くなか、年末に嬉しい最高の報告をいただきました。上生君、「おめでとう！」

まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない日々が続いておりますが、本年も社会福祉法人ともいき福祉会は新型コロナウイルスの感染防止対策に万全を尽くしつつ、高齢者福祉サービスの安定的・継続的な提供と医療、就労等の生活支援に必要な諸分野との連携・協働に取り組み、社会福祉事業を担うにふさわしい社会福祉法人として研鑽してまいります。

利用者様と、全ての職員と、そして法人に携わる全ての皆様と共に、「共生(ともいき)」の心を分かち合い、お互いが人として認め合い、助け合い、「想い」を共有していきたいと思っております。

我々の「想い」のつながりが、地域社会貢献に導かれていくと信じています。

そしてこれからも、皆様と共にありたいと願っております。

犬山市長
山田 拓郎



「最前線で頑張る皆さんへ感謝」

あけましておめでとうございます。いつも犬山市の介護を支えていただき、ありがとうございます。

さて、昨年は世界中がコロナに振り回される一年でしたが、特に介護や医療に携わる皆様は、社会機能を維持していく上で、なくてはならない存在です。そうした皆様は、コロナに起因する様々な負荷の中で、最前線で頑張っていただいていることは、決して当たり前ではなく、尊敬し感謝すべきことです。

リモートワークでは対応・解決できない仕事があり、人と人とが直接ふれあうことは、心が通う豊かな社会を形成するために不可欠です。介護の現場においても、介護される人と介護する人とのふれあいが重要です。その点、ぬくもりさんは、スタッフの皆さんがいつも明るく丁寧な姿勢で取り組んでおられ、温度が伝わってきます。

まだコロナの影響が続きますが、みんなでチカラを合わせ、予防と社会活動の両立を図り、前を向いて乗り越えていきましょう。



明けましておめでとうございます。
年頭にあたり「ぬく森家族会」会員を始め地域の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員を代表いたしまして、家族会の運営・活動に対し格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

大半の方が昨年度の漢字をおおよそ予想していたと思いますが、昨年度の漢字は「密」でした。新型コロナウイルスが世界的に蔓延する中、感染対策として「3密」が提唱され、私たちの生活様式にも影響を与えました。

昨年はコロナ禍において家族会総会・活動発表会・懇親会の中

止に始まり、毎年利用者様やご家族が楽しみにして下さっている、ぬく森本館の納涼祭、ぬく森・第二での夏祭り・年末恒例の餅つき大会など全ての行事が中止となりました。

これからも「ステイホーム」「自粛」の生活が求められると思いますが、「ぬく森家族会」を代表いたしまして、利用者様の生活がコロナ禍であっても楽しく、充実したものになるように願っております。

また、以前のように地域の皆様とともに参加できる行事の再開にも期待をしています。

最後に、利用者様並びにご家族皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



2021年、新しい年となりました。

皆さまには、コロナ禍ということで、いままで経験したことのない「お正月」を迎え、昨年から継続して「新しい生活様式」でお過ごしのことと存じます。

今年中には、日本でもワクチン接種が始まることになるそうですが、少しでも、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、皆さまにとっての「日常」が戻ることを切に願っております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に杞憂な日々が続き、何もかも自粛の年となりました。特に、利用者ご家族の皆様には、日ごろの面会、行事・イベントなどすべて中止させていただいたことにより、大変なご不便、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

一方、偶然かもしれませんが、インフルエンザ等その他の感染症は息をひそめ、また、台風、大地震による壊滅的な被害もありませんでした。また、少しだけ、CO2の排出量も減り、空気がキレイになったとも聞きます。

私たちはこの地球上のあらゆる命あるモノと同じで、自然に生かされているということを肌身で感じた一年ではなかったでしょうか。

地震や風水害などは、避難訓練を積みながら、「来るべき時」に向けて、準備はしていますが、未知の感染症の脅威に真剣に意

識を向けることなく過ごしてきてしまったことは、世界的にみれば、ビル・ゲイツ氏が5年前に予言をしていただけに口惜しく思うてしまいます。

これからも、さまざまなリスクに関して敏感となり、ご利用していただいている皆さまの生活を守り、地域の皆様に貢献できる法人・施設として、スタッフ一同、精進して参ります。

昨年のぬく森・第二は、ご家族さまのご理解とご協力により、WEBでの面会の開始、フロアごとの夏祭り、ユニットごとのクリスマス会、フォトコンテストの開催など、利用者さまの寂しい思いや屈辱な思いを、少しでも軽減できる活動を進めてまいりました。スタッフに関しても、可能な限り施設内外の「研修」の機会を確保し、スキルアップに励みました。愛知県介護福祉社会主催の「介護技術コンテスト」に参加し、準グランプリを受賞するスタッフを輩出できたことも、当施設にとっては、誇りに思う嬉しい出来事でした。

まだまだ、今まで通りの、「交流」や「外出」はできませんが、利用者さまのお知恵を借りながら、安全・安心・充実した毎日を送っていただけるように、本年もより一層、良質なサービスを提供させていただきます。

延期となった、東京オリンピック、パラリンピックが、無事開催されますように、また、皆さま方にとりまして、健康で、穏やかな年となりますことを祈念いたし、私の新年の挨拶とさせていただきます。



あけましておめでとうございます。

日頃は「ぬくもり」に対し格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2020年今年の漢字に「密」が選定されました。

流行語大賞にも「3密」が選ばれ、密閉・密集・密接ということばを多く見聞きした年でした。

3密を避けるために各地でのイベントが中止となり、ぬく森においても利用されている皆様の健康を守るために納涼祭や餅つき大会等を中止させていただきました。

また、施設内では日頃から感染症予防に努めておりましたが、感染症対策を見直し、更なる対策、予防に取り組んだ年でもありました。

マスクや消毒液等の品不足の時期もありましたが、皆様から温かいご支援を賜りました。

本当にありがとうございました。

国外ではワクチンの接種が始まり、収束へ向けて世界各国でまた国内においても一歩一歩進んでおりますが、新型コロナウイルスの収束へはまだまだ時間がかかりそうです。

収束するまでは、「新しい生活様式」という言葉の通り、新しい生活を送っていかなくてはなりません。施設内の生活も新しい生活が始まっております。

利用者ご家族の皆様、地域の方々にご心配とご迷惑をおかけして申し訳ないと思いますが、「命」を守るために、今後ご理解、ご協力をお願いいたします。

今後も職員一同、感染症対策を行い、利用者様には安心して生活を送っていただける一年にしたいと思います。

本年もよろしくお願いいたします。

9月 ユニット型特別養護老人ホームぬく森 秋の掲示物作り

ユニット内を秋仕様に模様替えるべく、みなさんに秋の掲示物を作って頂きました。指に絵具を付けてペタペタ。「これどうするの?」とみなさん不思議がっていましたが、絵の具の付いたところに枝と葉を描いて完成!ぶどう狩りに行きたくありませんね(笑)なかなか外出はできませんが、ユニットの中で少しでも季節を感じて頂けたらと思います(^o^)



9月 保育所ぬく森 はじめてのさつまいも掘り

養護のおじいちゃんおばあちゃんたちが作られたさつまいもを収穫しました。園児たちにとっては、はじめてのさつまいも掘りに挑戦!スコップで一生懸命掘り起こし「よいしょ!よいしょ!」。土の中からあらわれるサツマイモに夢中になっていた子どもたちでした。



10月 特別養護老人ホームぬく森・第二 食欲の秋を楽しもう



今年は夏祭りも、一泊旅行も、秋の紅葉ドライブもできない中で、何とか出来ることで楽しんでいただこうと、『食欲の秋』を各ユニット選りすぐりのアイデアで楽しみました。ケーキバイキングを行った、なでしこユニットでは種類が多すぎてみなさん嬉しそうに選ばれていました。うなぎと白和えという和食を楽しんだずらんユニットでは、秋の味覚からは外れるものの、普段食べられないうなぎにみなさん舌鼓を打ちました。2021年は外出して食を楽しみたいですね。

10月 デイサービスセンターぬく森・第二 運動会



今年はコロナ禍でさまざまなところで行事などの催し物が縮小されています。感染予防に配慮しつつ、利用者様の笑顔と健康維持のために運動会を開催しました。

皆さん、紅白に分かれ、はちまきをしていただき、気合十分\(\◎o◎)/!マスクも万全\(^o^)/今年の種目はつなひき、おとさずまわせ、玉入れ、バトンリレーなど。今年の優勝は紅組でした。次回も良い汗をかいて、健康な身体を維持しましょう。

11月 特別養護老人ホームぬく森 ボウリングレクリエーション活動

ボウリングレクリエーション活動を行ないました。赤い風船のボールを白いピンに当てるゲームで、利用者の皆様もピンが倒れる様子を見て「当たったー!やったー!」「簡単に楽しいね!」「手の運動になるよ。」と夢中で楽しまれていました。普段口数の少ない方も表情が変わって遊ばれていました。このご時世、行動が制限され、出来る活動は限られていますが、今後も利用者の皆様楽しんでいただけるレクリエーション活動を行ってきたいと思います。



12月 ケアハウスハートフル 認知症サポーター養成講座

城東地区高齢者あんしん相談センターの職員による認知症サポーター養成講座を開講していただきました。認知症サポーターとは、認知症の人を自分の出来る範囲で手助けする



人のことで、講座終了後には認知症サポーターの証であるオレンジリングをもらいました。職員のみなさんによる手に汗握る素晴らしい熱演に役者魂を感じつつ、認知症への理解が深まる良い機会となりました。

12月 デイサービスセンターぬく森 ゆず湯

2020年の冬至は12月21日。南瓜(なんきん)や銀杏(ぎんなん)など「ん」の付くものを食べて運気を上げる、小豆を食べて邪気を払うなどさまざまな風習があります。寒い冬を無病息災でのりきれよう、12月15日~21日までの一週間「ゆず湯」を楽しんでいただきました。柚の香りにも邪気を払う力があるそうです。利用者様からは「いい香りがした」「体があったまった」などうれしい声をいただきました。



12月 ぬく森サロン・五郎丸 ハーバリウム作り



12月は毎年みなさんとクリスマスケーキを作っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、ケーキ作りが出来なくなりました。それに代わるモノとしてハーバリウム作りを行いました。瓶の中にバランスよく物を入れる為、作業中は皆さん真剣な眼差しで、光加減も考慮して花を配置していました。ケーキのように食べて楽しむことはできませんが、見て楽しむ・癒されるハーバリウムが出来ました。インテリアとして部屋はもちろん、玄関やトイレなどに置くのがおススメ。生花じゃないので手入れ要らずで花を楽しむことができますよ。

クリスマスイベント

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年度はイルミネーション点灯式を開催することができなかったのですが、少しでもクリスマスを楽しんでいただこうと各事業所にて工夫を凝らしたクリスマスパーティーを開催！みなさんの楽しそうな笑顔が見れて良かったです。
来年も笑顔溢れるクリスマスにしたいです。

特別養護老人ホームぬく森



デイサービスセンター ぬく森・第二



特別養護老人ホームぬく森・第二



ユニット型 特別養護老人ホームぬく森



ケアハウスハートフル



デイサービスセンターぬく森



保育所ぬく森



あいち介護技術コンテスト🏆 2020

令和2年12月6日、あいち介護技術コンテスト2020が開催されました。

前回のコンテストでは、一次審査をやりきることでもできず終わってしまい、悔しい思いをしました。その雪辱を果たすべく、職場の同僚や先輩方に、色々なパターンの課題を考えて頂いたり、自分がまだ経験の無い福祉用具の使用方法などの相談にのってもらったりと、たくさんの協力や応援を頂きました。今回、準グランプリという結果が残せたのも、職場の仲間の支えがあったからだと思います。今回の経験を活かして入居者様により良いケアが行えるよう精進します。

特別養護老人ホームぬく森・第二 介護士 上生 勇介



デイサービスセンターぬく森・第二の介護士、小川 彩乃さんが社会福祉法人福寿園主催の福祉の絵手紙作品にて、785点もの作品の中から入選いたしました。おめでとうございます。

新入職員紹介

職員一同頑張りますので宜しくお願いします。



介護士
長谷川 諒



介護士
野呂 一貴



介護士
坪井 達哉



介護士
西 康雄



介護士
本田 卓也



介護士
丹羽 範明



介護士
北川 徹



介護士
溝口 一美



支援員
奥野 知絵

ご協力ありがとうございました

令和2年9月1日～令和2年12月31日
※敬称略・順不同

ボランティアありがとう

吉田 英翠
移動美容室「ひまわり」

善意ありがとう

松田昇平
(福)犬山市社会福祉協議会

犬山市共同募金委員会
(福)犬山市社会福祉協議会城東支部

(福)中部善意銀行